

運営推進会議

2026年9月25日

エイプレイス赤羽

医療連携運営推進会議開催の目的

利用者様、地域住民の代表者様、区の職員等に対して、
提供しているサービスの内容を明らかにすることにより、
事業所による利用者の抱え込みを防止し、
地域に開かれたサービスとする事で、サービスの質の確保を図る
事を目的としています。

会社概要説明

A-Place

- エイプレイス -

福祉先進国デンマークには「エイジング・イン・プレイス」(Aging in place)、
日本語に訳すと「住み慣れた地域で、自分らしく最後まで」という考え方があります。
わたしたち「エイプレイス」は、高齢者やその家族が住み慣れた地域で、自分らしく最後まで暮らせるよう、
在宅介護事業や生活支援サービス等の活動を通じて、様々なサポートを行います。
また、スタッフが利用者やその家族に寄り添い、永く働き続けられる場所になるという考えも込められています。

NEXT
STANDARD

「最期まで自分らしく」を支える“当たり前”を創りたい。

会社概要説明



「エイプレイス赤羽」
○定期巡回サービス
○訪問介護



「エイプレイス新宿」
○定期巡回サービス
○夜間対応型訪問介護
○訪問介護



「エイプレイス麻生」
○定期巡回サービス
○夜間対応型訪問介護
○訪問介護



「エイプレイス川口」
○定期巡回サービス
○夜間対応型訪問介護
○訪問介護



「エイプレイス中野」
○定期巡回サービス
○夜間対応型訪問介護
○訪問介護

職員の構成

社員7名

2026/3より1名増

所長1名（赤羽、川口兼任）

管理者1名

2026/3より2名減

パート9名（2名休職中）

2026/3より3名増

- ・ 2026年3月以降の退職者
2名

- ・ 今後1名正社員雇用を目指している

- ・ 早い時間帯と夕方が手薄なためパートを募集中

- ・ 派遣パート
1名

利用者の構成（2026/9）

年齢 65～98歳

平均要介護度 定期巡回 3.9（20名）
定期Ⅲ（夜間） 3.3（13名）

利用年数 最長4年3か月（現在も継続）
最短2日

2日間の利用について
ご利用者様ご家族様より入所前に数日で良いので
自宅で生活をしたい。排泄の対応と短期間になっ
てしまいが何かあった時に来てほしい。という事
で1日4回の訪問と緊急対応にて無事自宅で生活
をして入所となった

日常サービスの提供内容



提供時間 2分～90分

平均提供時間 概ね20分以内

短いサービスでは安否確認、服薬の空包確認など

※長いサービスを2回に分ける事もあります。

前半40分排泄、移乗、食事提供

後半20分服薬、口腔ケア、移乗、片づけ

サービス内容については訪問介護とほとんど変わりません。

生活支援ではなく身体介護となることが多いです。

生活に必要な日常の支援が定期巡回では必要とされている方が多くいらっしゃいます。

基盤となる土台を支えるためのサービスというイメージがわかりやすいかと思います

コール機の利用

通常の使用としては転倒、排便が多いです。

食事を提供したのちに再訪問までの間、コール機にて食事状況の確認と何かあった時の呼び出しとしても活用しています。

また、夜間の転倒の対応や排便で訪問看護さんと呼ばれていた方も定期巡回を利用後はヘルパー対応で問題なくサービス提供を行えています。

どれくらいで来るの？という質問が多いのですが緊急時には30分以内に行けるようにしているのですがどうしてもほかの利用者様の訪問をしていることもあり内容によっては1時間以内には訪問できるように頑張っています。

※テレビ電話も利用できます。

転倒が多い方の定時の確認、コール機ではわかりかねる利用者の確認使用時は同意書にサインをいただいています。



防犯ブザー

大音量のブザー音
+家族へ居場所を
メールでお知らせ！

戻るキー

前の画面に
戻ります。

発信キー

設定すれば、
ワンタッチで
通話が可能！

方向キー& センターキー

方向キーで画面の
カーソルを移動し、
センターキーで項目の
決定ができます。

記録や予定の確認などはスマケアを活用

- スマホを利用して記録や連絡を取り合っている
- スマケアを活用し各関係者様が記録や入退室時間を確認する事が可能となっている
- 初めての訪問などでも写真や記録を元に対応することが可能となっているため緊急時の訪問でもスマケアや情報を調べてグーグルマップを元に訪問しています。（訪問したことがない自宅でも訪問できなかったという事は起きていません）
- 他にはビジネス用のSNSを利用し連絡や共有を行っている。

事故報告

●服薬漏れ

都度、区への報告をさせていただいています。時間帯によって対応の仕方が違う場合に発生しやすいと感じています。

できる限りミスのないように統一したいので各関係者に相談させていただいています。

●キーボックスの戻し忘れと施錠忘れ

自宅内にキーボックスと鍵を置いたまま退室してしまい次の訪問で気づくこととなる。やりながら、話ながらで対応すると忘れる事はよくあると感じています。そのために確認漏れのないやり方でキーボックスは荷物の上に置くなど対策を立てて対応しています。

定期巡回 事例

要介護5
85歳男性

小規模多機能型を利用していた

開始前の状況

- ・ 尿路感染が定期的に続いていた
- ・ 小規模多機能で日中に関しては問題なかったが夜間の時間が心配だった
- ・ できる限り自宅で生活をさせてあげたい
- ・ 定期定期に入院していてお金がかかる

開始してから現在

- ・ 尿路感染は起きていない（1日3回洗浄や清拭を行う）
- ・ 入院することがなくなった
- ・ 体調が悪い事もあるがこのまま自宅でサービスを利用していきたい

要介護2
76歳女性

認知症と耳がとても聞こえづらい

開始前

- ・ ヘルパーが訪問しても不在なことが多くいたとしてもインターホンでは気づかない事が多々ある
- ・ 薬が飲めていない。1日1回の訪問のみ
- ・ 体調を崩していて救急車を呼ぶことも

開始してから

- ・ 本人を説得して鍵の管理を一部させていただく
- ・ 毎日2回訪問して安否確認をしている
- ・ どれだけ不在なのか、帰ってきたときに報告も出来るようになった
- ・ 体調を崩してしまっているという事がなくなった

BCP

～事業継続計画～

※自然災害

- 大雨が降った際に実際訪問で周っていたヘルパーより水没していた区域の報告がありました。災害時のハザードマップを全員に渡し、北区のURLによりスマホで確認できることも共有しています。
- 災害時の利用者様の訪問優先順位、避難場所、事業所で保管している物品の一覧など事業所にフォルダリングとPC共有BOXにて管理しています。
- 机上訓練として先日あった大雨の際の電車の遅延を元にどのように連絡、対応するかを話し合いと確認をしました。

災害時にお困りな事やお手伝いできることがあればぜひ連絡ください。

☆例えばこのような物品も！

保存食、水を職員分ではありますが用意してあります。

事業所の予備として置いているおむつ類の在庫を必要時は利用できると考えています。

緊急時用の簡易トイレもあります。

介護で使っている薄手のグローブやマスク、感染対応グッズも役に立つと思います。

訪問介護事業所ですのであまり在庫は抱えられません。少しでも役に立てば幸いです！

感染症対応

- 全ヘルパーに感染対応の一式を 1 回分以上所持していただく
- 37.5度以上では報告38.0以上は感染対応をしてその他症状についても報告や感染対応一式は気にせずに使うように伝えている
- 37.5度以上が継続、その他咳などの症状がある場合にはご自宅玄関に感染対应用の一式を置かせていただく
- 動画研修、事業所研修にて実技訓練（ペーパー研修）を実施

研修・BCP・事業所会議

	実技研修	動画研修	個別研修	事業所会議	BCP委員会
7月	虐待について セルフチェック	感染症と食中毒 について	電話対応 仕事術	虐待の芽集計	感染症及び食中毒に関する訓練 実施 嘔吐の対応 BCP委員会開催
8月	感染対応 ヒヤリハット、 事例検討			感染について 事例発表と検討	BCP委員会開催 BCPの周知
9月	災害時の初期行動	事故に関する研修	外への発信 計画作成（書類作成について）	災害時の対応 について	保管資料の見直しと修正

連携契約事業所

連携訪問看護事業所

現在24事業所（3月より2事業所増）

連携介護事業所

契約は3事業所

現在お願いしている委託はなし

よくある質問

何度も転んでいる
救急車を呼んでしまう



一日何回は入れますか？



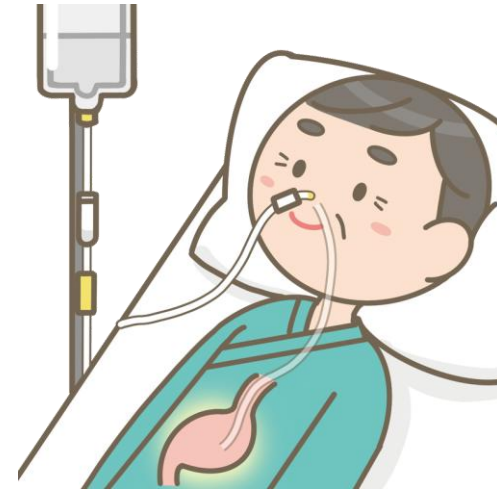
吸引
経管栄養は
出来ますか？



介護拒否



家族の介護負担



自宅で生活するための 実際にあった相談

・転倒

家族が介護できないが理解が得られないので複数回訪問をお願いしたい。

A.

訪問した際に必要な事を手伝いながら介入していくこととなった。

・介護拒否

単位数が足りないのでどれくらいお願い出来ますか？

A.

1日の訪問回数は必要なだけ入ります。必要なケアで退室するため1回の訪問時間は短くなると思います。
改めてご様子、状態をお聞きして必要な事を確認して実際どれくらいの訪問が必要か検討します。

・各痰吸引

対応は可能ですか？

A.

ヘルパーが医療行為をする環境を整えていない為対応はできないのですがご家族が対応するのを手伝う事は可能です。（経管栄養をお手伝いしたことはあります）

チーム型定期巡回

- 地域包括ケアシステムの理想に近づけた訪問介護
- 他の訪問介護事業所と委託契約を結び、地域の利用者様と一緒に支える事が目的
- 多職種との連携、、退院時や緊急時の対応や急遽の追加対応も可能なため都度連絡を取り合う事ができる。
- 地域をチームとして他事業所様と連携をしつつ支えていくことがこれからの将来につながると感じております。

赤羽事業所は将来的には定期巡回サービスを浸透して地域で支えあえる環境を築きたい

以前
施設で働いていた時にはすべてが整っている
そんな環境だったので気づかなかったことが
沢山ありました。



整った環境
交流の場



必要な物が整っている



捨てられないゴミや荷物
片づけられない家の中



転んでも誰もいない

気付いた時には大変な事になっている
介護サービスを始めようとした時には
介護だけでは済まない環境になっている
高齢者だけの生活、独居が増えてこのような
状況が増える事が予想されると思います。
地域の方々にも相談しやすい環境に
なっていけばいいなと感じています。